

# スポーツの喜びを

## 全ての市民に

総合型地域スポーツクラブなどで体験できるニユースポーツの楽しさや喜びは、全ての方が共有できるものです。障がい者スポーツの推進やスポーツ施設の整備など、市民が必要とするスポーツの力を活用したまちづくりを進めていきます。

体を躍動させたいという気持ちは人間生来の欲求で、スポーツによる楽しさや喜びは子どもから高齢者まですべての方の生活に多くのものをもたらしてくれます。

スポーツには、私たちに健康と生きがいを与え、地域社会を活性化させる力があります。

年代に応じたスポーツの役割

幼児や子どもから学生、社会人、高齢者までのライフステージに合わせて、スポーツが担う目的や役割、効果は変化します。

子どもたちは、幼少期に遊びを通して触れ合うことでスポーツの楽しさを知り、小・中学校の部活動や体育の授業では、身体能力を高める土台を形成します。

社会人には、余暇の娯楽や気分転換、ストレス発散などにスポーツは最適です。

また、年齢を重ねると、生活習慣病の予防に気を使わなければなりません。

多世代が一緒に楽しくスポーツ

ライフステージに応じて、スポーツが担う目的や役割、効果は異なりますが、それでも子どもから高齢者までが一緒になつてスポーツで遊び、楽しめるのが、総合型地域スポーツクラブです。

総合型地域スポーツクラブの特徴は、地域住民が主体的に活動し、多種目、多世代、自主運営です。

市内では現在、のだスポレクファミリーカラーブのみです。

や禁煙、節酒のほか、適度な運動習慣が望ましいです。

地域で孤立しがちな高齢者にとって、軽スポーツやレクリエーションは、人と触れ合うきっかけになり、地域との絆づくりにつながります。

また、できるだけ自分のことは自分でできることが高齢者だけではなく、みんなの幸せにつながります。

介護予防体操も、スポーツの一種と考えると無理のない範囲で毎日わずかな時間にできる手軽なスポーツです。

